

恵教研音楽部会 指導案検討の内容について

1. 授業者から

- 児童の実態から:コロナ禍だったことで、4年間近くまともに歌っていない。現在6年生だが、5年生時の1月からやっと歌えるようになった。また、思春期になってきたこともあり、マスクを外せない、外さない児童も数名おり、難しい状況である。
- 指導計画について:指導書の指導計画では、全部で3時間扱いとなっているが、児童の実態に合わせて4時間に変更。本時の前に1時間、パート練習の時間を設定した。
- 音楽の授業では、ほとんど使用したことがないが、クロームブックを活用してみたい。

2. 検討した内容

- 児童にどんな表現をさせていくのか。
 - ・力強い感じにするには、大きな声でフォルテなど、言葉の表現を音楽的な表現で表せるようにしていく。
- 児童にどんな楽譜を使わせるのか。
 - ・最初に、ブレスや強弱起動などが書かれていない楽譜を渡し、最初にフレーズを感じさせ、ブレスなどを記入させていく。本時までには児童が気づいたことをどんどん記入させていく。
- 本時の内容が多いと思われ、時間内に終わることができないのではないかと。
 - ☆考えられる方策①
 - ・時間が足りないようだったので、導入部分でリズムや前時の振り返りを行わないことにするといいのではないかと。
 - ・児童が楽譜を読み取る手立てとなるように、音楽用語や音楽を表す言葉を提示することで、楽譜の読み取りに時間がかからないようにするといいのではないかと。
 - ・クロームブックをパートごとに一人だけに持たせることで、集中して話し合いをする事ができると思う。
 - ・グループの作り方は、自分たちの旋律を考えればいいので、パートごとにするとよい。
 - ☆考えられる方策②
 - ・1曲すべてではなく、一番盛り上がる部分の歌い方だけを深く掘り下げてもいいのでは。
 - ・曲のポイントについて:曲の最初の部分、**②**・**③**のつながり、最初と最後のつながりを的確にし、児童が見ることができるようまとめていく。ある程度言葉が出たら、教師の方でつけ足したりしていく。
- その他
 - ・6/8拍子だが、波に乗っているように意識した拍の流れも大切にさせたい。
 - ・主旋律を意識させたい。
 - ・児童が考えた表現を実際に歌いながら確認させたい。